

# 第34回 アジアキリスト教教育基金総会

[特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金]

## 2023年度社員総会



# 2023

## 第 34 回 アジアキリスト教教育基金 総会

## 特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金 2023 年度社員総会

日時 2023 年 5 月 21 日（日） 15 時半～17 時

場所 友の家（池袋）及びオンライン会議システム (Zoom) による開催

## I. 議 事

1. 定足数の確認 事務局
2. 議長の選任
3. 第 1 号議案 2022 年度事業報告および活動計算報告承認の件
  - 2022 年度事業報告 柳原さつき 事務局長
  - 2022 年度活動計算書報告 河見 誠 理事
  - 監事監査報告 桃井明男 監事  
大江 浩 監事
4. 第 2 号議案 2023 年度事業計画および活動予算案承認の件
  - 2023 年度事業計画案 柳原さつき 事務局長
  - 2023 年度活動予算案 河見 誠 理事
5. 第 3 号議案 役員（理事・監事）選任の件
6. 第 4 号議案 評議員選任の件
7. 第 5 号議案 議事録署名人選出

## II 報告等

その他

# 2022年度事業報告

2022年4月1日から2023年3月31日

## 1. 事業の概要

【初等教育】コロナ禍後、バングラデシュでは2022年3月に学校が全国で本格的に再開し、2022年度は6地区42校で3,546名の子どもたち、そして156名の教師に対して初等教育の支援を行いました。また、教育の質向上の一環として進めている図書室設置校は、5校となりました。

【職業訓練】ミルプール、プーバイル、ジャマルプールの各地区では、引き続き自動車、電機、コンピューター、縫製の各コースを開講し、計148名に対して技術指導を行いました。

【マイクロファイナンス】継続した教育（初等教育の修了、中等・高等教育への進学）の実現を念頭に、子どもたちの母親を対象にしたマイクロファイナンス事業を継続実施し、6地区に110グループ、1,883名のメンバーが融資・貯金活動を行っています。

【国際理解促進】2019年以来コロナ禍を経て、3年ぶりにスタディツアー（試行）を再開しました。今後に向けた試行的な開催とし、すでにサービスラーニングでACEFと活動実績のある大学生を対象に参加者5名で催行しました。グローバルフェスタにオンラインで参加し、ツアーの成果について報告を行いました。

【普及・啓発活動】2022年秋から徐々にバザーを再開する幼稚園や学校、団体等から連絡をいただき、バングラデシュの手工芸品を介した啓発活動を再開しました。

## 2. 事業の実施に関する事項

(事業費の総費用 31,530千円)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者(人)	受益対象者範囲	受益対象者(人)	事業費(千円)
アジアの開発途上国への教育支援事業	初等教育支援 (含中学進学支援)	通年	6地区	156	小学校43校の在籍者	約3,500	22,903
	職業訓練校支援	通年	3地区	7	職業訓練生	148	2,890
	図書室の設置、読書普及	通年	地区	20	設置校生徒と地域住民	783	493
	マイクロファイナンス支援	通年	6地区	57	マイクロファイナンス・グループメンバー	1,883	1,445
国際協力への理解、参加を促進するための事業	スタディツアー 国際協力理解についてのセミナー、報告会など開催 学校等へ講師派遣	通年	バングラデシュ 東京及びオンライン	69	ツアー参加者 国内一般市民 セミナー・勉強会参加者	218	2,619
	メールニュース、SNS情報発信等	通年	オンライン	10	会員・寄附者 一般市民	3,000人以上	410
	バングラデシュ手工芸品の紹介提供	通年	日本各地	9	国内一般市民 バザー参加者	-	770

### 3. 会員組織

2022 年度中の個人新入会員は 14 名（2021 年度は 10 名）、過去 3 年間未納の会員も含め退会者が 46 名で、結果個人会員数は 32 名の減となり、2022 年度末会員総数 857 名です。団体会員については増減なく 22 団体です。

**2022 年度末会員総数 22 団体 857 名**

**（社員会員 69 名＋一般会員 769 名＋学生会員 15 名＋ジュニア会員 4 名）**

【参考】2017 年度から 5 年間の動向と内訳は以下の通りです。

#### 団体会員 個人会員

2017 年度末会員総数	27 団体	1,134 名
（社員会員 61 名＋一般会員 1,024 名＋学生会員 44 名＋ジュニア会員 5 名）		
2018 年度末会員総数	28 団体	1,052 名
（社員会員 62 名＋一般会員 929 名＋学生会員 56 名＋ジュニア会員 5 名）		
2019 年度末会員総数	28 団体	1,065 名
（社員会員 70 名＋一般会員 928 名＋学生会員 61 名＋ジュニア会員 6 名）		
2020 年度末会員総数	24 団体	954 名
（社員会員 65 名＋一般会員 827 名＋学生会員 27 名＋ジュニア会員 4 名）		
2021 年度末会員総数	24 団体	889 名
（社員会員 69 名＋一般会員 792 名＋学生会員 24 名＋ジュニア会員 4 名）		

#### ACEF 団体会員一覧

1	青山学院初等部	12	学校法人 百羊学園
2	桜美林学園キリスト教センター	13	山梨英和ダグラスこども園父母の会
3	聖学院大学キリスト教センター	14	岡山友の会
4	女子聖学院中学校高等学校	15	全国友の会 中央部
5	東洋英和女学院 中高部 生徒会	16	大阪友の会
6	横浜英和学院	17	玉野友の会
7	昭島幼稚園エイセフボランティアの会	18	東京第二友の会
8	聖学院みどり幼稚園	19	広島友の会
9	聖学院幼稚園保護者会	20	武蔵野友の会
10	東洋英和幼稚園 母の会	21	国際基督教大学教会
11	認定こども園 母の会	22	田園調布地域合同祈禱会実行委員会(奥沢教会)

## 4. 各事業活動の報告

### 4-1. アジアの開発途上国への教育支援事業

#### (1) BDP を通してのバングラデシュの初等教育支援

2022年3月から、パートナー団体BDP (Basic Development Partners) が運営するノンフォーマル小学校も通常スケジュールに戻り、就学前教育から5年生まで、3,500名余りの子どもたちが勉強を続けています。新たに建設された公立学校に転校するなどの理由で、子どもの数が徐々に減少しており（特にジャマルプール地区）、2023年度中に4校が段階的に閉鎖する予定です。以下、BDP 小学校の現況です。（2023年3月31日現在）

■ 受益者：就学前教育・初等教育—3,546名（男1,689、女1,857）

（内就学前教育—1,019名）

教師—156名

■ ノンフォーマル学校：6地区42校 児童総数3,546名

カティラ地区—6校 児童数242名

ミルプール地区—3校 児童数413名

プーパイル地区—8校 児童数750名

ネトロコナ地区—5校 児童数598名

ボクシガンジ地区—5校 児童数351名

ジャマルプール地区—16校 児童数1,192名

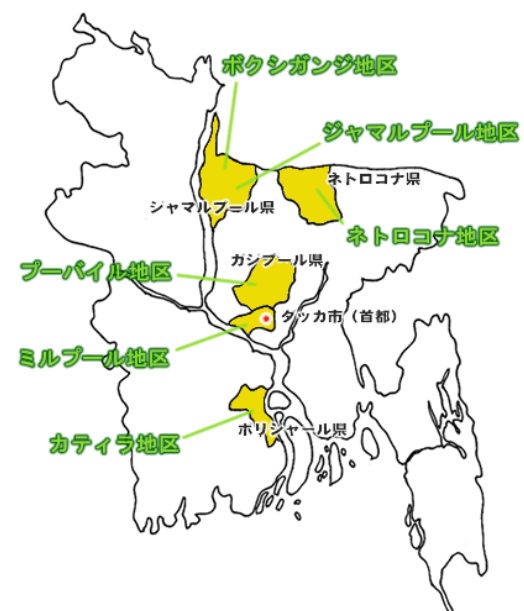
初等教育43校の運営の経費（主に教師給与と学校維持費）及びBDPの運営費のために以下の送金を行いました。

2021年度実績	2022年度予算	2022年度実行額
130,000 USD	130,000 USD	112,868 USD
=11,000,000 BDT		11,000,000 BDT
=14,300,000 円	=16,380,000 円	=15,500,671 円

注) 2022年度の実行額については、2022年4月から2023年にかけての急激な円安ドル高により、2021年度の送金総額実績の現地通貨バングラデシュ・タカ (BDT) 額で固定し (11,000,000BDT)、送金を行った。

公立小学校の建設など時代の変化に応じて、引き続きBDPによるノンフォーマル教育サービスをニーズが高いコミュニティに重点を置き、現地での資金調達ができる環境を整えています。BDP 小学校維持のためのコミュニティ負担については、すでに合意ができているところも出ており、その他は継続的な協議を続けています。また、現地の日本企業との繋がりを広げながら支援の可能性を探り、同時にBDPで教育を受けた人材がこれら企業で活躍できる場を模索しています。

BDPの初等教育プログラムの変革促進事業は、庭野平和財団より助成金を受けて実施しています。



この他、コミュニティと共に子どもたちの学びの環境改善を図り、教育の質の向上を目指しています。子どもたちの創造力向上のため、図書室設置も引き続き行い、2022年度はクラウドファンディングでの資金調達により3校で新たに図書室を設置しました。日本からは、資金面の支援だけでなく、翻訳不要の低学年向けの絵本を寄付いただき届けました。現地のコミュニティ住民の中からも、本の寄贈をする人が出てきています。



▲日本からの絵本寄贈（ポリシャル地区）、コミュニティ住民からの本寄贈（プーバイル地区）

## （2）職業訓練校支援

ジャマルプール地区の電機基礎科では14名が修了し（新たに12名が受講中）、自動車科では15名が修了（新たに15名が受講中）しました。ミルプール地区のコンピューター科では53名が修了、また縫製科では38名が修了（新たに2名が受講中）しています。さらにプーバイル地区の電機基礎科では28名が修了（新たに30名が受講中）しました。いずれのコースについても、少なくとも7割以上の入学者が職業訓練を終えることができ、電機基礎科とコンピューター科の卒業生は、ほとんどが起業し店舗を営んでいます。自動車科と縫製科の卒業生は、習得した技術を生かしてフリーランスとして生計を立てる者が多く、優秀な修了生に対しては貸し付けを行い、自立支援を促しました。（計20名に対し、200,000BDTを支援）

BDPは引き続き職業訓練コースの自立化に向けて努力しているところで、既述の通り日本企業へのアプローチを始めました。ACEFとしても、コンタクトが取れる企業については協力し、出張の際にBDPスタッフとともに企業を訪問するなど支援をしています。



▲インストラクターによる実演を交えた講義 ▲頻発する停電に発電機を使用して学ぶ

[職業訓練事業は、日バ共働職業教育・スタートアッププロジェクトとして公益財団法人日本国際協力財団より統助成金を受けて実施しています]

### (3) BDP マイクロファイナンス事業の支援

2020 年度より開始したマイクロファイナンス事業は、現在 110 グループ、1,883 名のメンバーが活動しています。コミュニティやメンバーたちから信頼の厚い BDP 小学校の先生方 57 名が、引き続きクレジットオフィサー役を引き受け、各グループのまとめ役を任めています。まだ融資するための資金が十分ではないため、融資額や融資を受けているメンバーの数は少ないですが、融資を受けている人の多くが、それぞれの事業拡大のためにもっと融資額を増やしてほしいと希望しています。

2022 年 8 月には、日本からマイクロファイナンスの専門家が評価に訪れ、「地域ごとの戦略の必要性」が挙げられました。人口の多いミルプールなどダッカ市近郊地区では、商店や飲食店などの小規模ビジネスが好調であり、一方ジャマルプールなど農村部地区では、野菜栽培、乳牛・肉牛の飼育など農業系ビジネスに融資が利用されています。女性が融資を受ける立場にすることで、家族の中での立ち位置が変わってきたそうです。また、BDP も女性たちに以前よりもアプローチしやすくなったと言っています。このように母親グループによる融資や貯金が進み、家計を安定させることで子どもたちが継続して教育を受けられるようになることが期待されます。

地区 (クレジットオフィサー数)	メンバー数 (グループ数)	貯金額	融資利用者数
ポリシャル (5)	186 (9)	23,070	4
プーバイル (17)	426 (22)	85,200	23
ネトロコナ (6)	258 (12)	42,050	12
ミルプール (12)	454 (24)	91,824	0
ボクシガンジ (3)	128 (10)	12,590	13
ジャマルプール (14)	431 (33)	58,707	31
合計	1,883	313,441	83



▲融資を受けて露店を始め、4人の娘を育てる（左）

▲夫と乳牛を飼い、糞から出るバイオガスで光熱費を節約（右）

[マイクロファイナンス事業は、アジア生協協力基金の助成を受けて実施しています]



#### 4. 国際協力への理解、参加を促進するための事業

2022 年度も対面とオンラインにて若者の育成に関する事業として、以下の各事業を実施しました。

##### (1) サービスラーニングの受け入れ

■ICU-SL:国際基督教大学 (ICU) の授業プログラムのサービスラーニングの学生を延べ 9 名受け入れ、年間を通して学生が ACEF の活動に参加し、役割を担う中で学びました。

時期	人数	活動内容
春学期 (4-7 月) 18 時間	4 名	オンラインと対面活動 (SNS 広報・カレーイベント)
春・夏学期 (3-8 月) 30 日間	1 名	オンラインと対面活動 (SNS 広報・クラウドファンディング)
秋学期 (9-11 月) 18 時間	2 名	オンライン活動 (BDP とのミーティング・SNS 広報・現地協カスタッフとのミーティング)
秋・冬学期 (9-2 月) 30 日間	2 名	オンラインと対面活動 (BDP とのミーティング・SNS 広報・ファンドレイジング)

GE は一般教養科目の 18 時間の奉仕を含む短期。COM は活動日数 30 日の長期。

■AGU-SL:また、昨年度から青山学院大学 (AGU) のサービスラーニングが始まり 2 名の学生を受け入れ、子どもたちにバングラデシュのお友だちのことを伝えました。

時期	人数	活動内容
5 月-7 月	2 名	青山学院初等部 4 年生の授業で発表 初等部と BDP 小学校の間で手紙交換を実施

##### (2) オンラインイベント

###### 1) クラウドファンディングに合わせたオンラインイベント

ICU 夏のサービスラーニング受講生が中心となって、スタディツアー中のメンバーと協力しバングラデシュと ZOOM で繋がるイベントを開催しました。

- 8 月 9 日 インスタグラムライブ・ZOOM イベント

###### 2) バングラデシュの教育について学ぶ会

ICU サービスラーニング受講生が中心となり、バングラデシュ現地協力者の 2 名よりバングラデシュの教育制度や女性のエンパワーメント、性教育について学ぶ会をもちました。

- 11 月 7 日 現地協力者の元 JICA ボランティアの福嶋祐子さんと現役理学療法士の山内章子さん (ACEF 評議員) をお招きしてイベントを実施。

### 3) グローバルフェスタ JAPAN2022

2022年スタディツアー参加者がスタディツアーからの学びを交えつつ、 Bangladesh の教育と女性のエンパワーメントについてお話ししました。

- 10月1日 「Bangladesh の教育と女性のエンパワーメントの今」

## (3) 対面イベント

### 1) カレーワークショップイベント

ICU サービスラーニング (18時間) 受講生が中心となり Bangladesh に ついて学び、カレー作り体験ができるカレーワークショップを実施しました。

(講師: 井上儀子さん、カレーワークショップ講師: 前田恭子さん)

- 5月27日 「Bangladesh カレーイベント」@SCF

### 2) ノモシュカールカフェ

ICU 夏のサービスラーニング (30日間) 受講生が中心となって、 Bangladesh の文化について学び、ドネーションができるカフェを開催しました。

- 2月3日 「ノモシュカールカフェ」

### 3) 青山学院大学初等部にて授業実施

AGU-SL 受講生が中心となり、青山学院初等部にて特別授業にて、BDP 小学校 とのお手紙交換などの活動を行いました。

- 6月8日 初等部授業実施

### 4) 3月21日「スタディツアーセミナー」(ハイブリッド開催)@SCF

8月のスタディツアー開催に向けて、Bangladesh や ACEF スタディツアーを知るイベントを開催しました。高校生から社会人まで40名が集まりました。(講師: 山内章子さん)

## (4) ACEF ユース

### 1) ACEF ユースミーティング

サービスラーニング、イベントや、ボランティアなどで関わりのあった有志の学生でミーティングを定例化しました。

- 2月7日 エイセフユース第1回ミーティング
- 3月23日 エイセフユース第2回ミーティング

### 2) ボランティア活動

対面とリモートのさまざまなボランティア活動を実施しました。

- ベンガルティーセット作成
- ハンディクラフトの値札付け、ポップ作り
- 尊厳エピソードの配信 (インスタグラム)
- BDP の先生のインタビュー (インスタグラム)

## (5) 尊厳教育カフェ/ワークショップ

ACEF のビジョンにも掲げている「尊厳」について、評議員のジェフリー・メンセンディークさん(「尊厳リーダーシップ」(原題 Leading with Dignity) を翻訳)によるハイブリッド形式でワークショップを開催しました。各々の日常を振り返りながら、「自分にとっての大切」をあらためて見直し、自分や他人

の尊厳がいかに傷つきやすく、かつ大切なものを学ぶ機会を得ました。

- 9月3日（尊厳カフェ） 参加者：対面9名オンライン5名
- 11月3日（尊厳スキルワークショップ） 参加者：対面8名オンライン8名



▲尊厳カフェの様子



▲尊厳スキルワークショップの様子

#### （6）学校・団体への講師派遣

関係する学校・団体からの講演依頼を受け、講師を派遣しました。礼拝で中学生や高校生にスタディツアーについて紹介する機会をいただき、また幼稚園でも子どもたちはじめ、多くの先生や保護者のご協力をいただき、BDPの子どもたちとの新たなコミュニケーションが始まりそうです。

	月日	学校・団体/場所	講師
1	5/6	女子聖学院中学・高等学校礼拝（録音）	小田哲郎事務局長
2	5/17	青山学院大学コミュニティ人間科学部（河見ゼミ）（対面）	小田哲郎事務局長
3	5/26	女子聖学院中学校 アジア祈禱集礼拝メッセージ（対面）	小田哲郎事務局長
4	5/29	日本基督教団芦屋浜教会 アジア・エキュメニカル週間礼拝（対面）	小田哲郎事務局長
5	6/15	サステナ サステナビリティ塾（オンライン）	小田哲郎事務局長
6	6/18	全国友の会国際交流の会「 Bangladesh の子どもたちと女性」（オンライン）	小田哲郎事務局長
7	8/26	ICU サービスラーニング説明会（30日間）（オンライン）	柳原さつき事務局長
8	10月中	東洋英和幼稚園母の会（録画）	柳原さつき事務局長
9	11/7	東洋英和女学院中学・高等学校 創立記念礼拝（対面）	井上儀子理事、柳原さつき事務局長
10	11/14	フェリス女学院中学・高等学校 奉仕週間礼拝（対面）	井上儀子理事
11	2/2	柿ノ木坂教会ベテル幼稚園（オンライン）	柳原さつき事務局長
12	3/9	ECC 教師へ ACEF 説明（オンライン）	柳原さつき事務局長

## 5. アジアの開発途上国に関する普及啓発事業

### (1) 広報：ニュースレター発行、Web サイト、SNS での情報発信

#### ■ACEF ニュースレター発行： No. 1~12



#### ■Web サイトの英語ページ作成 ACEF ユースページ作成



#### ■ACEF ニュースレターの配信

ACEF ニュースレターを毎月配信しました。ACEF 理事からのメッセージシリーズ連載、イベントのご案内と報告、クラウドファンディングキャンペーンの様子や寄付依頼を行いました。

#### ■ACEF ホームページの機能追加

英語の Web ページを作成し、海外からの寄付が受け付けられるようになりました。また、ACEF ユースのページ「ユース・プラットフォーム」を追加し、ユースの活動を一覧で見ることができるようになりました。

#### ■SNS での情報発信

活動の多くを Facebook で報告し、Instagram と Twitter でファンドレイジングのキャンペーン期間を中心に情報発信して若い世代にも ACEF を知ってもらえるように努めました。より幅広い世代に使われている公式 LINE のアカウントも開設しました。これら SNS 広報を ACEF ユースが担っています。特に若い世代が気軽に問い合わせやすい Instagram を通して、「ボランティア活動をしたい」「ACEF のイベント

に参加したい」など、メッセージがより頻繁に事務局に寄せられるようになりました。

#### ■雑誌等への掲載

・テラコヤプラス（教育関連情報掲載サイト）インタビュー記事掲載

柳原さつき事務局長

### （2）バングラデシュ手工芸品の紹介、提供

2022年度もバザーの開催は従来通りにはいきませんでした。少しずつ開催するところも増えてきたようです。久しぶりにご連絡をいただく学校や教会もあり、在庫が底をつく品物もありました。3月には、少し品物を補充しましたが、最近の人気アイテムも協力団体からの情報提供により把握できてきましたので、機会をみて、バングラデシュを日本国内の皆さまに知っていただく、そして身近に感じていただけるように、品物を補充していきます。皆さまの周りでもバザー等の機会がありましたら、ぜひ事務局にお声がけください。

## 6. 組織基盤強化・改革の取組み

### （1）「子どもと若者のセーフガーディングガイドライン」行動規範の活用実践

「子どもと若者のセーフガーディング」ワーキンググループにより、行動規範が完成し、ACEFの活動においても活用が始まりました。スタディツアー参加者をはじめ、サービスラーニングやボランティアでACEF活動に関わる人々とともに、行動規範を確認し、誓約書に署名をしていただいています。またジェフリー・メンセンディーク評議員のご協力により英語版も完成、3月にはBDPのダッカ事務所スタッフらとも共有し、今後日本・バングラデシュ両国で行われる活動において、遵守していきます。（別添をご覧ください）

## 7. 理事会・評議員会開催記録

月日	理事会・評議員会	主な審議事項／協議事項	場所
2022年 4月24日	第1回定例理事会	社員総会の開催に関する件 2021年度決算に関する件 2022年度活動計画及び活動予算に関する件 2022年度夏のスタディツアーに関する件 子どもと若者のセーフガーディングに関する件 状報告会規定の改定に関する件	オンライン (Zoom)
7月24日	第2回定例理事会	理事の担当、委員会及びワーキンググループの設置に関する件 認定NPO法人の認定更新に関する件	オンライン (Zoom)
9月11日	第1回評議員会	JICA草の根技術協力事業応募に関する件 次期役員・評議員選出の進め方と委員選出の件	オンライン (Zoom)
9月11日	第3回定例理事会	JICA草の根技術協力事業応募に関する件 新規会員管理システム導入に関する件	オンライン (Zoom)
11月13日	第4回定例理事会	役員を選任ならびに任期に関する件	オンライン (Zoom)
2023年 2月19日	第5回定例理事会	理事・評議員候補者名簿案の提出ならびに承認に関する件 2023年度予算案に関する件 2023年度通常総会開催に関する件 事務局長のバングラデシュ出張に関する件	オンライン (Zoom)
3月27日	第2回評議員会	次期理事・評議員候補者名簿の件 2023年度予算案の基本方針に関する件 2023年度定期社員総会開催の件	オンライン (Zoom)

## 2021-2022年度 ACEF 役員（理事・監事）顧問・評議員一覧

理事長	荒谷 出	評議員	安部 由紀子	高石 孝子
理事	安齋 昭子		天野 海走	高崎 和子
	井上 儀子		上野 峻一	塚本 潤一
	小野 道子		江間 紗綾香	都築 昌子
	小田 哲郎		大木 正人	徳田 有希子
	河見 誠		小田 理一郎	堀口 聖子
	佐野 正子		川上 咲野	松本 周
	西村 幹子		木越 憲輝	皆川 宜宏
	野田 沢		岸 ひかり	ジェフリー・マンセンディーク
	野村 正宣		古賀 博	森田 智子
	森 和博		佐藤 飛文	山内 章子
監事	柳原 さつき		関口 弘美	山口 旬
	大江 浩			湯本 浩之
	桃井 明男			
顧問	田坂 興亜			

## 2022 年度 決算報告

<b>貸借対照表</b>		[税込] (単位: 円)	
特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金		2023年 3月31日 現在	
資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	
(現金・預金)		預り金	132,576
普通預金	3,851,138	社会保険	(99,100)
現金	226,333	所得税	(33,476)
現金 円	(133,759)	流動負債 計	132,576
現金 USドル	(91,067)	<b>【固定負債】</b>	
現金 バングラデシュ・タカ	(1,507)	退職給付引当金	978,000
郵便振替	85,825	固定負債 計	978,000
普通預金 スタディツアー用	86,609	<b>負債合計</b>	<b>1,110,576</b>
普通預金 隅谷・和田基金	3,130,293	<b>正 味 財 産 の 部</b>	
現金・預金 計	7,380,198	<b>【正味財産】</b>	
(棚卸資産)		前期繰越正味財産額	12,925,358
貯 蔵 品	35,425	当期正味財産増減額	△ 6,620,311
棚卸資産 計	35,425	正味財産 計	6,305,047
		<b>正味財産合計</b>	<b>6,305,047</b>
<b>資産合計</b>	<b>7,415,623</b>	<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>7,415,623</b>

**【貸借対照表の注記】**

※為替レート参考(三菱 UFJ 銀行)

1USD=133.53JPY

1JPY=1.2508BDT

<b>財 産 目 録</b>			
特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金		[税込] (単位: 円)	
		2023年 3月31日 現在	
《資産の部》			
<b>【流動資産】</b>			
(現金・預金)			
普通預金	3,851,138		
三菱UFJ銀行 口座1	(3,105,946)		
三菱UFJ銀行 口座2	(745,192)		
現金	226,333		
円	(133,759)		
U S ドル	(91,067)		
バングラデシュ・タカ	(1,507)		
郵便振替	85,825		
ゆうちょ銀行 口座1	(83,245)		
ゆうちょ銀行 口座2	(2,580)		
普通預金 スタディツアー用 (三菱UFJ銀行)	86,609		
普通預金 隅谷・和田基金 (三菱UFJ銀行)	3,130,293		
現金・預金 計	7,380,198		
(棚卸資産)			
貯蔵品			
切手	35,425		
棚卸資産 計	35,425		
流動資産合計		7,415,623	
資産の部 合計			7,415,623
《負債の部》			
<b>【流動負債】</b>			
預り金	132,576		
社会保険	(99,100)		
所得税	(33,476)		
流動負債 計		132,576	
<b>【固定負債】</b>			
退職給付引当金	978,000		
固定負債 計		978,000	
負債の部 合計			1,110,576
正味財産			6,305,047



2022年度決算報告					
特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金					(単位:円)
	2022年度予算	2022年度決算	予算比	備考	
1	【経常収益】				1
2	【受取会費】	6,675,000	5,841,500	88%	2
3	社員会員受取会費	525,000	519,500	99%	3
4	一般会員受取会費	6,150,000	5,322,000	87%	4
5	【受取寄附金】	18,200,000	16,539,542	91%	5
6	受取寄附金	18,200,000	14,508,210	80%	6
7	指定寄付(丹羽メモリアル、)	3,500,000	867,934	25%	円形FE17A320,000、CF341,000、30周年111,143、校舎改修・災害基金95,791
8	受取寄附金(物品寄付)		7,288		8
9	受取寄附金(対価性あり)		1,156,110		9
10	【受取助成金等】	7,000,000	7,134,066	102%	10
11	受取助成金	7,000,000	7,134,066	102%	受取補助金含む
12	【事業収益】	2,400,000	652,384	27%	12
13	教育支援事業		150,000		13
14	理解参加促進事業	1,300,000	494,384	38%	14
15	普及啓発事業	1,100,000	8,000	1%	15
16	【その他収益】	120,000	27,009	23%	16
17	受取利息	0	114		17
18	為替差益	0	3,094		18
19	雑収益	120,000	23,801	20%	19
20	経常収益 計	37,895,000	30,194,501	80%	20
21	【経常費用】				21
22	【事業費】				22
23	(人件費)				23
24	給料手当(事業)	3,785,000	3,556,000	94%	24
25	アルバイト給料(事業)	1,560,000	1,601,150	103%	25
26	退職給付費用(事業)	343,000	319,000	93%	職員2+1名分
27	通勤費(事業)	40,000	132,504	331%	27
28	法定福利費(事業)	987,000	1,133,206	115%	28
29	人件費計	6,715,000	6,741,860	100%	29
30	(その他経費)				30
31	資金協力(BDP送金)	16,380,000	15,500,671	95%	31
32	研修費(BDP招聘)	260,000	300,576	116%	円高のため円・タカレート使用
33	BDP指定寄附送金	2,800,000	2,828,561	101%	デコ来日ARI研修参加渡航費
34	研修費	55,000	45,000	82%	ハラスメント研修
35	普及啓発活動費(バザー)	560,000	533,133	95%	35
36	業務委託費	4,500,000	860,000	19%	36
37	印刷製本費(事業)	200,000	283,627	142%	37
38	会議費(事業)	50,000	301	1%	38
39	スタディツアー費	800,000	1,511,378	189%	39
40	旅費交通費(事業)	500,000	742,378	148%	40
41	通信運搬費(事業)	650,000	507,348	78%	41
42	消耗品費(事業)	400,000	75,858	19%	42
43	事務所家賃(事業)	1,237,236	1,237,236	100%	43
44	賃借料(事業)	6,000	16,000	267%	44
45	諸会費(事業)	70,000	20,000	29%	45
46	支払手数料(事業)	430,000	308,236	72%	46
47	雑費(事業)	1,764	16,157	916%	47
48	その他経費計	28,900,000	24,786,460	86%	48
49	事業費 計	35,615,000	31,528,320	89%	49
50	【管理費】				50
51	(人件費)				51
52	給料手当等	4,180,500	3,997,429	96%	給与、退職金給付費用、通勤費、福利厚生
53	人件費計	4,180,500	3,997,429	96%	53
54	(その他経費)				54
55	会議費	30,000	23,100	77%	総会会場費、理事会(オンライン)
56	旅費交通費	4,000	5,762	144%	法務局等
57	通信運搬費		116,721		57
58	消耗品費	10,000	17,943	179%	58
59	事務所家賃	360,000	360,000	100%	¥30,000/月
60	諸会費	50,000	80,000	160%	DCカード、日バ協会、社会保険協会
61	慶弔費	5,000	5,000	100%	61
62	リース料	620,000	637,338	103%	印刷機リース切れ
63	支払手数料	3,000	4,219	141%	63
64	管理諸費	17,500	38,980	223%	税理士謝金+社労士(追加)
65	その他経費計	1,099,500	1,289,063	117%	65
66	管理費 計	5,280,000	5,286,492	100%	66
67	経常費用 計	40,895,000	36,814,812	90%	67
68	当期経常増減額	△ 3,000,000	△ 6,620,311	221%	68
69	【経常外収益】				69
70	経常外収益 計	0	0		70
71	【経常外費用】				71
72	経常外費用 計	0	0		72
73	税引前当期正味財産増減	△ 3,000,000	△ 6,620,311	221%	73
74	当期正味財産増減額	△ 3,000,000	△ 6,620,311	221%	74
75	前期繰越正味財産額	12,925,358	12,925,358	100%	75
76	次期繰越正味財産額	9,925,358	6,305,047	64%	76

## 財務諸表の注記

特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金
2023年 3月31日 現在

【重要な会計方針】  
 財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 外貨建て資産の評価方法  
 外貨建ての現金については、期末の為替レート（TTM）にて評価しています。

(2). 引当金の計上基準  
 退職給付引当金:従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき当期末に発生していると認められる金額を計上しています。なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいています。

(3). 消費税等の会計処理  
 消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

【その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項】

●事業費と管理費の按分方法  
 各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、給料手当、退職給付費用、通勤費については従事割合に基づき按分(50%, 50%) しています。

●使途が限定される助成金の当該年度の支出状況及び次年度の支出予定


助成金名	2021年度入金額	2022年度入金額	2021年度支出	2022年度支出	2023年度支出 予定
アジア生協協力基金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0
日本国際協力財団(1)	2,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0
日本国際協力財団(2)	0	2,000,000	0	0	2,000,000
庭野平和財団	0	1,000,000	0	1,000,000	0
ウェスレー・レガシー基金	1,165,934	1,834,066	3,000,000	0	0
	4,165,934	5,834,066	5,000,000	3,000,000	2,000,000

## 監 査 報 告 書

2023年4月14日

特定非営利活動法人  
アジアキリスト教教育基金  
理事長 荒谷 出 様

特定非営利活動法人 アジアキリスト教教育基金

監 事 桃井明男 監 事 大江 浩 

私共は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金の2022年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の業務監査及び会計監査を4月11日及び14日にかけて実施した。

業務監査（理事の業務執行の状況に関する監査）に当たっては、理事会、評議員会の会議に出席し、必要と認める場合には質問を行い、意見を表明した。

尚、中間監査にて意見を付した2項目（職務分掌及び年間スケジュール表の作成）については、速やかに対応がなされており改善が見られた。

会計監査（財産の状況に関する監査）に当たっては、財産の実在性を中心に、帳簿、証拠書類等の閲覧、照合、質問等を行った。

これらの監査の結果、当法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は、NPO法人会計基準及び一般に公正妥当と認められる会計の方法によって適正に処理されているものと認められた。

ここに、私共は、上記期間に係わる事業報告書が、同法人の業務執行の状況を示し、計算書類が2023年3月31日における財産の状況を適正に表示しているものと認める。

以上

## 第2号議案 2023年度事業計画案および活動予算案

### 1. 概要

コロナ禍も過ぎつつあり、国際協力への理解、参加を促進する事業として、スタディツアーの本格的な再開、そして幼稚園の子どもたちから大学生や社会人など広い年齢層を対象に、講座やセミナーなど行いたいと考えます。またこれに加えて、最近また活発になりつつあるユース活動を支援し、彼らが主体的に活動し、社会に働きかけていく機会を提供していきたいと考えています。また、あらためて ACEF のビジョンにも掲げられている「尊厳」と ACEF についても考えを深め、ACEF を訪れるすべての人々に理解を深めてもらうため、尊厳教育ワークショップの開催など、おとなも子ども・若者も共に学べるツールを作り、また学ぶ場を創出していきます。

パートナー団体である BDP との共働については、中期計画をともに策定し、初等教育ならびに職業訓練校運営については、段階的に BDP が自立していく道筋を描き、ACEF としての支援の在り方を明確にしていきます。自立支援の一つであるマイクロファイナンスのパイロット事業への協力は、ACEF も様々な助成金や委託事業の可能性を視野に入れながら継続していきます。

### 2. 事業の計画に関する事項

(事業費の総費用 31,622 千円)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数 (人)	受益対象者範囲	受益対象者数 (人)	事業費 (千円)
アジアの開発途上国への教育支援事業	Bangladesh の初等教育支援 (BDP 小学校の運営)	通年	Bangladesh ユ6地区	154	小学校の在籍者	約3,500	15,350
	職業訓練校支援 (助成金事業: 6月で終了)	通年	3地区	5	職業訓練生	150	1,830
	マイクロファイナンス支援	通年	Bangladesh ユ6地区	57	マイクロファイナンス・グループメンバー	2,000	1,450
	学習環境改善 (助成金事業、他)	通年	Bangladesh ユ6地区	100	小学校の在籍者	約3,500	3,250
	中期計画策定支援、現地資金調達へのアドバイス、協力	通年	Bangladesh ユ各地	30	BDP、小学校の在籍者、教員、家族等	6,000	462
国際協力への理解、参加を促進するための事	ユース育成 (スタディツアー)	通年	Bangladesh ユ	15	学生・一般	10	3,150
	ユース育成 (インターンシップ他)	通年	日本国内、Bangladesh ユ	15	学生	2	2,150

業	国際協力の理解についてのセミナー、講演会、報告会などの開催	通年	日本各地 オンライン	10	国内の一般市民 セミナー・勉強会参加者、ST参加者	1,000	930
アジアの開発途上国やACEF・BDPに関する普及、啓発事業	メールニュースの発行 SNSでの情報発信	通年	オンライン	5	会員・寄附者一般市民	3,000人以上	750
	尊厳教育活動	通年	関東、関西地域	10	国内の一般市民、学生	200	800
	Bangladeshの手工芸品の紹介、提供	通年	日本各地	10	国内一般市民バザー参加者	3,000人以上	1,500

### 3. 2023年度事業計画（案）

- (1) Bangladesh BDP 小学校等活動資金協力資金協力：US\$110,000（通常送金）
- (2) BDP との新たなパートナーシップのための中期計画を元にした、持続可能性向上への取り組みの継続（BDP 中期計画策定支援）
- (3) ユース育成活動を強化するための資金調達
- (4) 「尊厳教育」「尊厳スキル」ワークショップの開催と普及活動
- (5) 高校生・大学生の主体的な活動の支援（サービスラーニング等）
- (6) 学校や幼稚園とのプログラムを通じた啓発活動推進
- (7) 広報活動：年次報告書の発行、メールマガジンや SNS による情報発信・コミュニケーション強化、ホームページ内容の随時更新、新会員管理システム（GOEN）を活用した新規サポーターへの情報発信強化等

#### 採択済み助成金事業

助成団体・助成金	事業名（内容）	期間	助成額
日本国際協力財団 国際協力 NPO 助成 （昨年度採択）	日バ共働職業教育・スタートアップ・プロジェクト（3年次）	2022年6月～ 2023年7月	200万円
積水ハウス・マッチングファンドプログラム	「より質の高い学びの環境をみんなに」校舎改修、図書室設置による学びの環境改善	2023年4月～ 2024年1月	80万円
庭野平和財団 NPF プログラム非公募助成	「ノンフォーマル教育支援の持続化、トランスフォーメーション促進事業（第2フェーズ）」日本からの資金に頼ることなく、子どもたちに継続的な教育の機会を提供できるよう変革を目指す	2023年4月～ 2024年3月	300万円

※随時情報収集しながら、その他助成金についても申請予定（トヨタ財団、ウェスレー財団、JICAの業務委託事業等）。

#### 4. 2023年度年間スケジュール（案）

2023年4月23日（日）	2023年度第1回定例理事会
2023年4月29日（土）	東京女子大学同窓会園遊会バザー参加
2023年4月～	新会員管理システムSalesforce GOEN開始
2023年5月～7月	ICU（5名）、青山学院大学（3名）のサービスラーニングの学生受け入れ
2023年5月21日（日）	2023年度ACEF会員の集い、第34回ACEF度社員総会
2023年6月中旬	2023年夏スタディツアー申込み締切
2023年6月末まで	NPO法人所轄官庁へ必要書類の提出
2023年7月9日（土）～10日（日）	スタディツアー準備会（於：戸山サンライズ）
2023年7月9日	2023年度第2回定例理事会/ 第1回評議員会
2023年7月中旬	2022年度次報告書発行・夏期募金の依頼
2023年8月8日（火）～20日（日）	2023年度スタディツアー
2023年9月10日	2023年年度第3回定例理事会
2023年10月	グローバルフェスタ参加
2023年10月	2023年度中間監査
2023年10月～11月	会員の集い／セミナー（尊厳教育ワークショップin関西）
2023年11月12日	2023年度第4回定例理事会
2023年11月～12月	クリスマス・冬期募金の依頼
.....	
2024年1月上旬	（2024年春）スタディツアー申し込み締切（開催について要検討）
2024年1月中旬	2023年度第2回評議員会
2024年2月18日	2023年度第5回定例理事会
2024年3月中旬	2024春のスタディツアー実施（開催について要検討）
2024年4月14日	2024年度第1回定例理事会

2023年度予算案							
特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金						(単位：円)	
	2022年度予算額	2022年度決算	2023年度予算	前年度比	備考(予算案)		
1	【経常収益】					1	
2	【受取会費】	6,675,000	5,841,500	5,892,000	88.3%		2
3	社員会員受取会費	525,000	519,500	525,000	100.0%	7500円×70口	3
4	一般会員受取会費	6,150,000	5,322,000	5,367,000	87.3%	個人7,500円×566口、学生×11口、団体50	4
5	【受取寄付金】	22,800,000	15,775,463	21,700,000	95.2%		5
6	受取寄付金	18,200,000	14,619,353	16,000,000	87.9%	×80%がBDP送金を目標値	6
7	受取寄付金(対価性あり)	1,100,000	1,156,110	1,200,000	109.1%	従来の「普及啓発活動事業」収入・バザー	7
8	指定寄付金	3,500,000	756,791	4,500,000		バザー/退職寄付500,000、図書室500,000、校舎・研修センター改修1,500,000	8
9	(内ユース育成)			(2,000,000)		ユース活動活性化のため(ｽﾀﾃﾞｲｱﾝ、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ他)	9
10	【受取助成金等】	7,000,000	7,134,066	5,000,000	71.4%		10
11	受取助成金	7,000,000	6,134,066	5,000,000	71.4%	横浜ハウス(採択済)、NPF(採択済)+α	11
12	受取補助金		1,000,000				12
13	【事業収益】	1,300,000	652,384	1,000,000	76.9%		13
14	教育支援事業		150,000				14
15	理解参加促進事業	1,300,000	494,384	1,000,000	76.9%	ST、講師派遣、セミナー参加費	15
16	普及啓発事業		8,000				16
17	【その他収益】	120,000	36,918	120,000	100.0%		17
18	受取利息	0	114	0			18
19	為替差益	0	5,715	0			19
20	雑収益	120,000	31,089	120,000	100.0%	古本募金、物品寄付等	20
21	経常収益計	37,895,000	30,197,122	33,712,000	89.0%		21
22	【経常費用】						22
23	【事業費】						23
24	(人件費)						24
25	給料手当(事業)	3,785,000	3,556,000	2,860,000	75.6%	常勤(事務局長)、常勤(職員1名、8か月)	25
26	アルバイト給料(事業)	1,560,000	1,601,150	2,306,000	147.8%	パート4名、うち2名(4か月間)の後、常勤1名(8か月)へ	26
27	退職給付費用(事業)	343,000	319,000	288,000	84.0%	1名分+1名分(8か月)	27
28	通勤費(事業)	40,000	132,504	152,000	380.0%	3名分+1名分(4か月)	28
29	法定福利費(事業)	987,000	1,133,206	496,000	50.3%	1名分+1名分(8か月)	29
30	人件費計	6,715,000	6,741,860	6,102,000	90.9%		30
31	(その他経費)						31
32	ユース育成事業費			1,600,000			32
33	資金協力(BDP送金)	16,380,000	15,500,671	12,850,000	78.4%	110,000USD(20,000USD減)	33
34	研修費(BDP招聘/現地研	260,000	300,576	0	0.0%	BDP幹部の招聘なし	34
35	研修費(ACEF職員研修)	55,000	45,000	20,000	36.4%	職員研修、セールスフォース研修	35
36	BDP指定寄附送金	2,800,000	2,828,561	2,000,000	71.4%	指定寄附*80%	36
37	助成金事業(業務委託費)	4,500,000	860,000	5,173,000	115.0%	助成金事業(JICF継続事業1,373,000)	37
38	普及啓発活動費	560,000	533,133	450,000	80.4%		38
39	印刷製本費(事業)	200,000	283,627	180,000	90.0%	実績ベース-年次報告発行	39
40	会議費(事業)	50,000	301	50,000	100.0%	セミナー開催費(会場費+謝金)	40
41	スタディツアー費	800,000	1,511,378	600,000	75.0%	現地支出+準備会費用	41
42	旅費交通費(事業)	500,000	742,378	330,000	66.0%	バン格拉デシュ出張1回(あと1回はユース育	42
43	通信運搬費(事業)	650,000	507,348	570,000	87.7%	実績+Webメンテナンス込み	43
44	消耗品費(事業)	400,000	75,858	80,000	20.0%		44
45	事務所家賃(事業)	1,237,236	1,237,236	1,237,236	100.0%	¥103,103/月	45
46	賃借料(事業)	6,000	16,000	6,000	100.0%	地下倉庫	46
47	雑費	1,764	16,157	19,264	1092.1%		47
48	諸会費(事業)	70,000	20,000	105,000	150.0%	JANIC、DEAR、JNNE、日バ協会	48
49	支払手数料(事業)	430,000	308,236	250,000	58.1%	金融機関手数料・ソフトウェア	49
50	為替差損	0	2,621	0			50
51	その他経費計	28,900,000	24,789,081	25,520,500	88.3%		51
52	事業費計	35,615,000	31,530,941	31,622,500	88.8%		52
53	【管理費】						53
54	(人件費)						54
55	給料手当等	4,180,500	3,997,429	3,816,000	91.3%	常勤(事務局長)・常勤1名(8か月)分給与2,860,000、退職給付288,000、通勤費152,000、福利厚生等516,000	55
56	人件費計	4,180,500	3,997,429	3,816,000	91.3%		56
57	(その他経費)						57
58	会議費	30,000	23,100	30,000	100.0%	総会+会員の集い、理事会/評議員会	58
59	旅費交通費	4,000	5,762	4,000	100.0%		59
60			116,721				60
61	消耗品費	10,000	17,943	10,000	100.0%		61
62	事務所家賃	360,000	360,000	360,000	100.0%	事務所管理費(光熱費)分¥30,000/月	62
63	諸会費	50,000	80,000	3,000	6.0%	クレジットカード	63
64	慶弔費	5,000	5,000	5,000	100.0%		64
65	リース料	620,000	637,338	620,000	100.0%		65
66	租税公課	1,500	1,500	1,500	100.0%		66
67	支払手数料	3,000	4,219	150,000	5000.0%	SalesforceGOEN	67
68	支払報酬料	0	80,000	80,000		税理士・社労士謝金	68
69	管理諸費	16,000	38,980	10,000	62.5%		69
70	雑費	0	0	0			70
71	その他経費計	1,099,500	1,289,063	1,273,500	115.8%		71
72	管理費計	5,280,000	5,286,492	5,089,500	96.4%		72
73	経常費用計	40,895,000	36,817,433	36,712,000	89.8%		73
74	当期経常増減額	△3,000,000	△6,620,311	△3,000,000			74
75	【経常外収益】						75
76	経常外収益計		0				76
77	【経常外費用】						77
78	経常外費用計	0	0	0			78
79	税引前当期正味財産増減	△3,000,000	△6,620,311	△3,000,000			79
80	経理区分振替額	0	0	0			80
81	当期正味財産増減額	△3,000,000	△6,620,311	△3,000,000			81
82	前期繰越正味財産額	12,925,358	12,925,358				82
83	次期繰越正味財産額	9,925,358	6,305,047				83

## 第3号議案 役員（理事・監事）選任の件

人事委員会では、現任の理事・評議員からの推薦に基づき、以下の役員（理事・監事）候補者推薦リストを準備し、2023年度第1回理事会は、これを総会に上程することを決定しました。

### 1. 理事候補者リスト

氏名	所属等
荒谷 出（再任）	共愛学園中学高校宗教主任
井上 儀子（再任）	元 ACEF 事務局長
小野 道子（再任）	東洋大学准教授、（特活）災害こどものこころと居場所サポート代表
佐野 正子（再任）	東京女子大学教授 宗教委員長
西村 幹子（再任）	国際基督教大学教授
野田 沢（再任）	SCF（学生キリスト教友愛会）主事
野村 正宣（再任）	東洋英和女学院高等部教頭
森 和博（再任）	東京大学経営企画部国際戦略課アドバイザー
柳原 さつき（再任）	ACEF 事務局長
天野 海走（新任、現評議員）	横須賀学院高等学校副校長
大野 由里子（新任）	全国友の会中央委員 ※安齋昭子現理事の後任
ジェフリー・マセンダイク（新任、現評議員）	桜美林大学准教授、チャプレン

### 2. 監事候補者リスト

氏名	所属等
桃井 明男（再任）	山梨英和学院監事
大江 浩（再任）	賛育会 ミッションサポート部部长、赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト事務局長

### <顧問>

氏名	所属等
田坂 興亜	元アジア学院理事長

※顧問は役員ではありませんので、理事会での任命であり、社員総会での選任の対象外です。

### 3. 退任

河見誠、安齋昭子、小田哲郎



## 第4号議案 評議員選任の件

人事委員会では、現任の理事・評議員からの推薦に基づき、以下の評議員候補者推薦リストを準備し、2023年度第1回理事会は、これを総会に上程することを決定しました。

### 1. 評議員候補者リスト

	氏名	所属等
1	安部 由紀子(再任)	東京都海外戦略広報担当課長／慶応義塾大学非常勤講師
2	上野 峻一(再任)	東洋英和女学院中学高等学校聖書科教諭
3	江間 紗綾香(再任)	日本基督教団世田谷平安教会牧師・付属幼稚園園長
4	大木 正人(再任)	日本基督教団南甲府教会牧師
5	小田 理一郎(再任)	(有)チェンジエージェント代表取締役
6	木越 憲輝(再任)	聖学院小学校教諭
7	岸 ひかり(再任)	株式会社ディ・エフ・エフ
8	古賀 博(再任)	日本基督教団早稲田教会牧師
9	佐藤 飛文(再任)	明治学院東村山中学校高等学校教諭/SCF 理事
10	関口 弘美(再任)	ワールドビジョン・ジャパン職員
11	高石 孝子(再任)	広島友の会会員
12	高崎 和子(再任)	日本基督教団所沢みくに教会、武蔵野友の会会員
13	塚本 潤一(再任)	日本基督教団芦屋浜教会主任担任教師
14	都築 昌子(再任)	国際協力機構(JICA)企画部職員
15	徳田 有希子(再任)	関西学院高等部社会科教諭
16	堀口 聖子(再任)	山梨英和ダグラスこども園副園長
17	松本 周(再任)	宮城学院女子大学准教授
18	皆川 宜宏(再任)	アトラシアン株式会社エンジニア
19	森田 智子(再任)	東京女子医科大学学生
20	山内 章子(再任)	レイミッションナリー(バングラデシュ在住)、理学療法士 元 JOCS ワーカー
21	山口 旬(再任)	横須賀学院小学校教頭
22	湯本 浩之(再任)	宇都宮大学教授／(特活)開発教育協会代表理事
23	大坪 千鶴(新任)	東京第二友の会会員／23区南生活クラブ生活協同組合理事
24	小田 哲郎(新任・現理事)	日本基督教団南三鷹教会・フィッシャー幼稚園伝道師
25	高橋 満(新任)	アラップの会スタッフ／元日本聾話学校教諭

### 2. 退任

天野海走、川上咲野、ジェフリー・メンセンディーク

